



ぐんまが いちばん!



群馬県

はじめに

この本は、
 皆さんが暮らす群馬のたくさんの魅力を
 1冊にまとめたものです。
 群馬県には上毛^{さんざん}三山などの山々や、
 尾瀬、利根川などの
 清流といった豊かな自然、
 草津や伊香保、水上^{みなかみ}、四万^{しま}をはじめ、
 たくさんの温泉があります。
 また、上州和牛や下仁田ネギ、
 しいたけなどの豊富な農畜産物や、
 おつきりこみに代表される粉食文化を誇り、
 自動車産業や伝統工芸品など、
 様々な産業も発達しています。
 さらに、東国文化の中心地として栄えた証として、
 古墳や遺跡などもたくさんあり、
 古くから受け継がれてきた文化が根付いています。
 このような「ぐんまの魅力」をもっと理解して、
 たくさんの人に群馬県のことを
 伝えていきましょう。



目次 Contents

群馬県はこんなところ	1
[特集] すごいぞ!ぐんま	2
ぐんまの自然	8
ぐんまの温泉	14
ぐんまの食	18
ぐんまの農業	22
ぐんまの産業	26
ぐんまの歴史	32
ぐんまの文化	40
ぐんまのトリビア	46



群馬県はこんなところ

日本列島のほぼ中央にあつて、県西・県北地域には山々が連なり、南東部には関東平野が開ける内陸県です。
 面積は6,362.28km²で、その大きさは全国で21番目、関東地方では栃木県に次ぎ2番目です。
 地形は、「上毛かるた」に「つる舞う形の群馬県」とうたわれるように、羽を広げた鶴の形によく似ています。
 2,000m級の山岳、尾瀬の湿原、利根の清流をはじめとする美しい大自然と、行政、工業、商業といった、それぞれの機能をもつ拠点都市が県内に分散し、自然と都市の魅力にあふれています。



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

●プロフィール
 誕生日：2月22日
 年齢：7歳
 モチーフ：ポニー
 特技：変身
 群馬県のPRのため、様々な姿に変身します。

ぐんまの魅力を
 いっしょに探してみよう!

●誕生の契機
 平成6年10月に開催された第3回全国知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック群馬大会」のマスコットとして誕生し、以後多数の群馬県内の大会マスコットを歴任しています。

●主な活動
 群馬県のPR。平成24年12月には「群馬県宣伝部長」に任命され、全国各地を飛び回り、群馬の魅力を伝えています。平成26年には「ゆるキャラ®グランプリ2014」で見事全国1位となりました。また、ご当地ぐんまちゃんとして群馬県内35市町村のPRにも活躍しています。



世界に認められた 群馬の歴史遺産!

とみおかせいしじょう
 明治5年操業開始の富岡製糸場は、日本の近代産業の始まりであるとともに、絹産業の技術革新に大きな役割を果たし、他の関連する絹産業遺産群とともに、平成26年、ユネスコ「世界遺産」に登録されました。また、約1300年前に建てられた上野三碑は、東アジアの文化交流を記す日本最古の石碑群として、平成29年にユネスコ「世界の記憶」に登録されました。いずれも群馬県が世界に誇る歴史のたからものです。

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」

世界遺産とは、過去から引き継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産で、193カ国が締約国となっているユネスコの世界遺産条約で定義されています。

平成26年6月、富岡製糸場(富岡市)と田島弥平旧宅(伊勢崎市)、高山社跡(藤岡市)、荒船風穴(下仁田町)の4つが、日本で18件目の世界遺産に登録されました。これらは、長い間生産量が限られていた生糸の大量生産を実現した技術革新と、世界と日本との間の技術の交流を示す場所がよく残され、また、世界の絹文化の発展に大きく貢献したことから、その価値が非常に高いと認められたのです。



たじまやへいきゆうたく
田島弥平旧宅

「清涼育」という養蚕法を開発した、田島弥平が建てた住居兼蚕室です。屋根に換気用の小さな屋根をつけたこの構造は、近代養蚕農家の原型となりました。



たかやましゃあと
高山社跡

高山長五郎は、通風と温度管理を調和させた「清温育」という養蚕法を確立し、この地に「高山社」という養蚕教育機関を設立しました。「清温育」は全国標準の養蚕法となりました。

とみおかせいしじょう 富岡製糸場

明治政府が生糸の品質向上と増産を図るために設立した製糸工場です。洋式の製糸器械を導入し、製糸技術開発の最先端として活躍しました。



あらかぶねふうけつ
荒船風穴

蚕種(蚕の卵)を自然の冷風を利用して保存した天然の冷蔵庫です。卵のふ化の時期を調節し、養蚕が1年に複数回できるようにになりました。貯蔵能力は、日本最大規模を誇りました。

世界の記憶「上野三碑」

上野三碑とは山上碑、多胡碑、金井沢碑の3つの石碑の総称で、日本に18例しか残っていない古代(7~11世紀)の石碑のなかで最古の石碑群です。

三碑は、東アジアの中での人と文化の交流や、さまざまな人々が共に生きる社会の大切さなどを教えてくれます。また、刻まれた内容は、中国を起源とする漢字や政治制度、インドを発祥とする仏教が日本に伝わり、都から遠く離れた上野国(現在の群馬県)まで伝来して、当時の人々が受け入れていたことを示しています。

これらの石碑が現代まで奇跡的に残ったのは、地域の宝として長い間守ってきた地域の人々や、明治時代にその貴重さに気づき保護した県令(現在の県知事)榎取素彦の努力のたまものです。

※ユネスコ「世界の記憶」とは、世界的に重要な文書や書籍、絵画・音楽など、歴史的記録物の保存への意識を高めるとともに、利用を促進することを目的としたユネスコの事業です。



山上碑



多胡碑



金井沢碑

「上野三碑」については37ページも見てね。



高速交通網で首都圏へ 全国へ

日本列島のほぼ真ん中に位置する群馬県。東京からは約100km、新幹線で約50分の近さです。平成27年3月には金沢まで北陸新幹線が開通。関越・上信越・北関東・東北と4つの高速道路が走り、高速交通網で全国各地と結ばれています。抜群のアクセスは、群馬の大きな強みです。



北陸新幹線 E7系

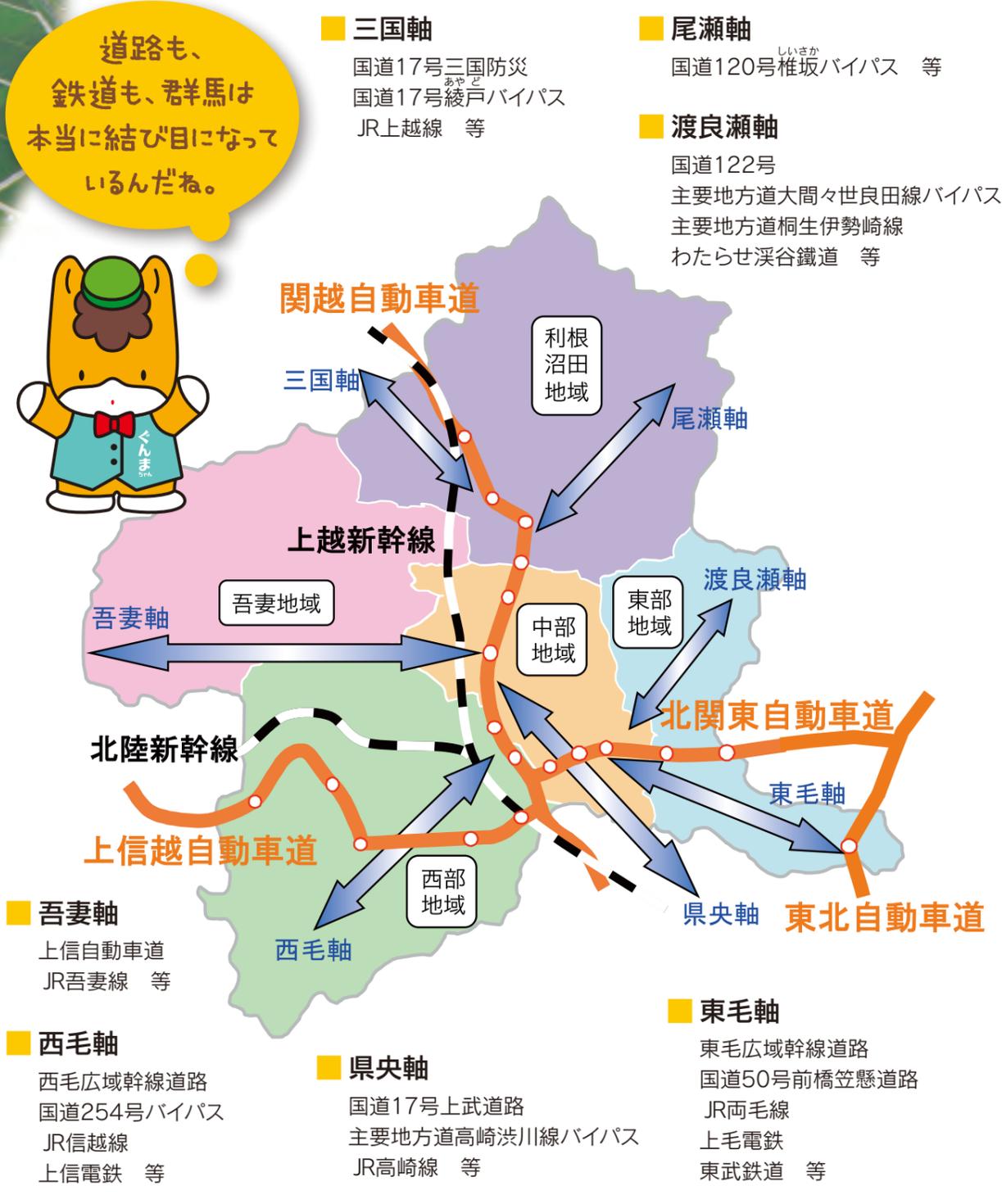
東西日本を交通で結ぶ群馬県

日本のほぼ真ん中にある群馬県は、道路や鉄道が縦横に走り、東日本と西日本、太平洋側と日本海側の結び目となっています。

首都東京へはもちろん、各地の空港や港とも高速交通網で結ばれ、そこから国内や海外への移動も便利なことから、企業の立地件数は全国トップクラスです。

「7つの交通軸」でラクラク移動

高速交通網で全国と結ばれている群馬県。その効果を県内すべての地域や産業の発展に生かせるように、高速交通網を補う7つの交通軸を整備しています。完成すれば、①渋滞の改善、②観光地へのアクセスや農作物の輸送効率のアップ、③県内企業の競争力アップ、④医療機関への所要時間短縮などの効果が望めます。



だれもが安心できる 抜群のくらしやすさ

おとなも、子どもも、お年寄りも、
障害のある人もない人も、
だれもが安心して暮らせるよう、
県独自のさまざまな取り組みが
進められています。
暮らしやすさは群馬の自慢です。

子育ても、シニアライフも
グッドだね。



ぐーちょきパスポート&ぐーちょきシニアパスポート

「ぐーちょきパスポート」は18歳以下の子どもまたは妊婦さんのいる家庭に、「ぐーちょきシニアパスポート」は65歳以上の希望者にお配りしているカードです。協賛店においてカードを提示することで割引やプレゼントなど、さまざまな「ちょい得」サービスを受けられます。

このサービスは、数多くの店舗の協力により、子育て世帯や高齢者を地域全体で支え合う社会の実現に貢献しています。

平成30年3月末時点で、「ぐーちょきパスポート」は5,601店舗、ぐーちょきシニアパスポートは1,697店舗で利用できます。



誰もが安心して暮らせる取り組み

群馬県は、昭和43年に全国に先がけて「福祉群馬」宣言を行い、県民福祉の向上に取り組んできました。

障害のある子どもたちが身近な地域で学べるよう教育環境の整備や特別支援教育の充実に取り組んでいます。また、障害のある方の自立支援を重点的に推進しています。

障害の有無や年齢等にかかわらず、だれもが安心して生活できるよう、生活面及び就業面の両面から支援を一層充実させるとともに、社会参加を支援しています。



中学生までの医療費無料化

群馬県では、市町村と協力し、中学生までの医療費無料化を全国に先がけて平成21年10月から実施しています。県内どこに住んでいても、所得制限や受診時の窓口負担がなく、入院・通院を問わず中学校卒業までの医療費が無料になる、手厚く利用しやすい制度です。

活躍中! 「ぐんま認定介護福祉士」

群馬県では、介護現場のリーダーとして必要な知識・技能を有する介護福祉士を養成し認定する「ぐんま認定介護福祉士」の制度を独自に創設し、平成21年度より養成研修を開催しています。



ぐんまの 自然

群馬が誇る
豊かな自然。
守ることはもちろん、
再生させようという動きも
あるんだよね。



首都圏を潤すぐんまの自然

群馬県は、関東平野の北西部に位置し、平野部から山岳地帯まで変化に富んだ自然が特徴です。流域面積日本一の利根川の水源地があり、首都圏の水がめともいわれています。県のシンボル「上毛三山」、日本の自然保護運動の発祥の地「尾瀬」など、豊かな自然は、誇るべき群馬の宝です。



自然保護の原点「尾瀬」

今ではよく
見かけるようになった
木道も、尾瀬から
広まりました。

尾瀬は昭和9年に日光国立公園に指定され、平成19年には尾瀬国立公園として独立しました。また、特別天然記念物、ラムサール条約湿地でもあります。

かつてはダム開発や道路建設の計画もありましたが、尾瀬の自然を守ろうとする人たちにより計画は撤回されました。

また、昭和47年には全国で初めて「ごみ持ち帰り運動」が行われました。これらの尾瀬を守る活動がその後の自然保護運動の先駆けとなっ



「尾瀬学校」のようす

たことから、尾瀬は「日本の自然保護運動の原点」といわれています。

群馬県では、群馬の子供たちが尾瀬を一度は訪れ、自然体験を通して、身近な自然や環境を守ることの大切さを学び、ふるさとを愛する心を育ててもらいたいと、県内の小中学生を対象とした「尾瀬学校」を推進しています。



世界に認められた3つの「ラムサール条約湿地」

「ラムサール条約湿地」とは、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地で、湿地の保全だけでなく賢明な利用を進めていくことを目的とした「ラムサール条約」の登録簿に掲載された湿地のことです。群馬県には3カ所あります。

「尾瀬」には本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原があり、豊かな生態系が保存されています。「渡良瀬遊水地」には本州最大級のヨシ原が広がり、猛禽類の日本屈指の越冬地になっています。また、「芳ヶ平湿地群」には、日本固有種よしがだいらのモリアオガエルの最高標高の繁殖地や東アジア最大級のチャツボミゴケ群落があります。



尾瀬



渡良瀬遊水地



芳ヶ平湿地群

調べてみよう!

尾瀬は貴重な自然の宝庫。尾瀬でしか見られない動植物にはどんなものがあるかな?

概要

特集

自然

温泉

食

農業

産業

歴史

文化

一覧



日本三大岩場の「谷川岳」

たにがわだけ

日本百名山に選ばれている谷川岳は、一ノ倉沢の衝立岩をはじめとした急峻な岩場があるため、劔岳(富山)、穂高岳(長野・岐阜)と並んで「日本三大岩場」とされています。



日本三大奇勝の「妙義山」

きじょう みょうぎさん



国の名勝で日本百景にも選ばれている妙義山は、耶馬溪(大分)、寒霞溪(香川)と並び、「日本三大奇勝」とされています。

また「日本近代登山の父」ウェストンが、妙義の山岳ガイド根本清蔵に登山技術を教えたことから、「近代登山発祥の地」ともいわれています。



稜線の長さ100km! 「ぐんま県境稜線トレイル」

けんきょうりょうせん

群馬と新潟・長野の県境稜線100kmを主要ルートとしたロングトレイル(登山道やハイキング道、林道、古道などをつなぎ合わせた距離の長い自然歩道)。国内のロングトレイルの中でも稜線の長さは最長です。

みなかみ町土合から嬭恋村鳥居峠を結び、谷川岳や四阿山といった日本百名山を含むほか、稜線のふもとには草津温泉、水上温泉、四万温泉、万座温泉といった有名な温泉地があります。



自然と人間の共生「みなかみユネスコエコパーク」



環境学習の様子

ユネスコエコパークは、自然と人間が共生する世界的モデル地域のことをいいます。みなかみ町は、谷川岳のエコツーリズムや林野庁などとの協働による赤谷プロジェクトなどの多様な取り組み、そして人々が自然と上手につきあいながら暮らす姿そのものが評価され、平成29年にユネスコエコパークに登録されました。



群馬県民のふるさとの山「上毛三山」

じょうもうさんざん

あかぎやま はるなさん みょうぎさん

赤城山・榛名山・妙義山の三つの山を総称して「上毛三山」といい、群馬県民のふるさとの山として親しまれています。県の紋章や県旗など群馬県のシンボルデザインに使われているほか、小・中・高校の校歌の歌詞にも多く登場します。

●「裾野は長し」と県民に愛される

「赤城山」《標高1,828m》

長い裾野を広げた姿が美しい赤城山は、日本百名山、日本百景の一つにも選ばれています。実は一つの山ではなく、最高峰である黒檜山をはじめ、駒ヶ岳・地藏岳・長七郎山・鍋割山などの総称です。



●火山活動で美しいすがたがつけられた

「榛名山」《標高1,449m》

火山活動でできた榛名湖と中央火口丘の榛名富士を囲むように、掃部ヶ岳、烏帽子ヶ岳などの外輪山が取り囲む美しい山。榛名神社やヒルクライム、イルミネーションフェスタなど、様々な観光を楽しめるエリアです。



大地の公園「下仁田ジオパーク」と「浅間山北麓ジオパーク」

ジオパークとは「大地の公園」ともいわれる自然公園のことです。

「下仁田ジオパーク」では、日本列島形成に関する多様な地殻変動の痕跡や、その土地特有の自然環境を生かした人々の暮らしの跡を見ることができます。代表的なジオサイトとして、地殻変動で地層の上下が逆さまになった「宮室の逆転層」や、岩と岩の間から冷風が出てくる特殊な地形を蚕の卵の天然冷蔵庫として利用した「世界遺産 荒船風穴」などがあります。

一方、「浅間山北麓ジオパーク」は、江戸時代における浅間山の噴火により多くの集落が被災し、地域の人々の努力により復興を果たしてきた地です。代表的なジオサイトとして、溶岩流が造り出した奇勝「鬼押し出し園」、「鎌原土石なだれ」の最大の被災地である鎌原集落で唯一残った建物「鎌原観音堂」、吾妻川沿いの深く美しい渓谷「吾妻峡」などがあります。



宮室の逆転層



溶岩流が造り出した奇勝「鬼押し出し」

泉 坂東太郎・利根川

みなかみ町おおみなかみやまの大水上山を源流とし、「坂東太郎」とも呼ばれる利根川。その流域は、群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・東京都の1都5県にわたり、流域面積約16,840km²で日本一を誇ります。

●舟運の面影を残す利根川の渡船

江戸時代、上州(群馬)は利根川舟運(舟を使った交通や物資の輸送)の出発地でした。船の荷揚げ場で、問屋が並ぶ「河岸」は40カ所もあり、にぎわいました。明治以降、鉄道の開通とともに舟運はなくなりましたが、今も公道として残る赤岩渡船や島村渡船などに面影をしのぶことができます。



利根川により南北に分かれた境島村を結ぶ島村渡船(伊勢崎市道)



千代田町赤岩と埼玉県熊谷市を結ぶ赤岩渡船は利根川を渡る県道の中で唯一船で渡る公道

Topics 水の恵みあふれる群馬

水源地・群馬では、各所に名水・湧水が見られます。

昭和60年に選定された環境省の「名水百選」には、箱島湧水(東吾妻町)と雄川堰はこしま(甘楽町)が選ばれています。また、平成20年に選出された「平成の名水百選」には尾瀬の郷片品湧水群(片品村)や神流川源流(上野村)が選ばれました。これらは、地域の人々によって大切に保全されている群馬が誇る名水です。



約400年前の構築以来、地元の人々に守られてきた「雄川堰」



箱島不動尊境内の大杉の根元から湧出する「箱島湧水」

Topics 再生可能エネルギーの宝庫“電源群馬”

「上毛かるた」に「理想の電化に電源群馬」とうたわれる群馬県。戦後の工業化に伴って多くの水力発電所が作られ、火力発電が主流となる1970年頃までは県内の発電量が消費量を上回っていました。現在、県内各地でさまざまな再生可能エネルギーの導入が進んでいます。

●豊富な水を生かす「水力発電」と「中小水力発電」

日本一の流域面積を持つ利根川が流れ、水資源豊かな群馬県には多くの水力発電所があります。揚水発電所として世界最大級の出力となる神流川発電所(現在は一部運転中)など大規模な水力発電所のほか、農業用水や小さな河川を利用した小水力発電も盛んです。

県は公営電気事業者として32カ所の水力発電所を運営し、その数、供給電力量とも公営電気事業者として日本一です。



県営の水力発電所 小平発電所(みどり市)

●長い日照時間を生かす「太陽光発電」

群馬県の年平均日照時間は常に全国上位! 平野部では冬の降雪も少ないので、太陽光発電施設が増えています。

平成25年に県が設置した板倉ニュータウン太陽光発電所(2,268kW)をはじめ、147カ所のメガソーラー施設が稼働しています(平成29年3月末時点)。



板倉ニュータウン太陽光発電所(板倉町)

●森林資源や農作物を生かす「バイオマス発電」

県土の3分の2を森林が占める群馬県は、木質バイオマスの原料に恵まれ、平成23年には吾妻木質バイオマス発電所が営業を開始しました。木質チップ専焼発電所としては国内有数の発電規模を誇ります。



吾妻木質バイオマス発電所(東吾妻町)

ぐんまの 温泉



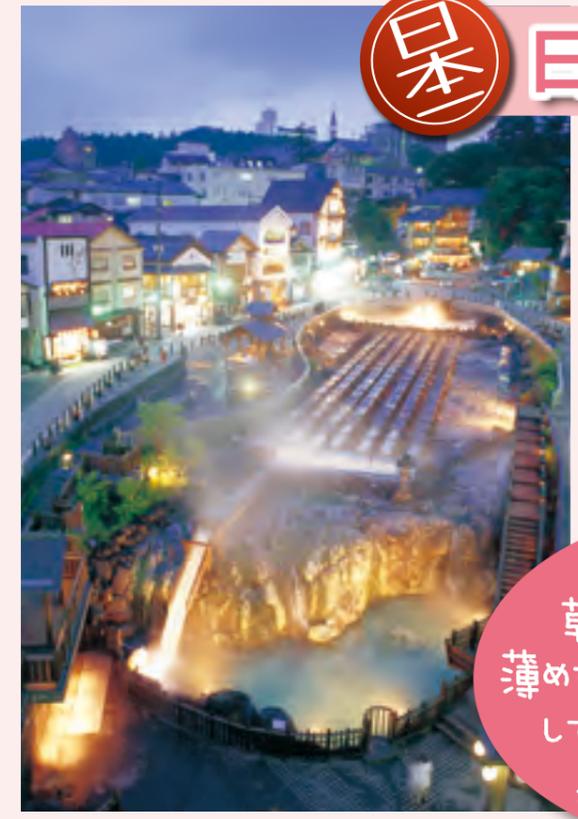
温泉の数だけ
まんじゅうあり!?
これはほんの一部だよ!



日本を代表する温泉大国

群馬県にある温泉地の数は100カ所以上!
草津、伊香保、水上、四万温泉をはじめ、
1,000年以上の歴史を持つ古湯、
秘湯や高原、川で楽しめる温泉など、
個性豊かな温泉地がたくさんあるのが自慢です。

日本 日本の名湯「草津温泉」



草津温泉は、湧出量が毎分32,300ℓを誇る自噴湧出量日本一の温泉。「日本三名泉」、「日本三大薬湯」にも数えられる名湯で、現在も「につぼんの温泉100選」(観光経済新聞社主催)で15年連続(平成29年度現在)で1位と高い評価を得ています。また、湯畑は国の名勝に指定されています。

温度の高い
草津温泉では、水で
薄めずに湯畑を経由させて、
自然に冷ますことで、
泉質を保っているよ。



草津温泉の湯畑

江戸時代の温泉番付

江戸時代の「温泉番付」では、草津は常に東の大関(江戸期には横綱はなく大関が最高位)。西の有馬温泉とともに由緒ある温泉地として全国的にも有名でした。

東		番付	西	
上州	草津の湯(群馬)	大関	摂州	有馬の湯(兵庫)
野州	那須の湯(栃木)	関脇	但州	城之崎の湯(兵庫)
秋田	小鹿嶋の湯(秋田)	小结	予州	道後の湯(愛媛)
上州	伊香保の湯(群馬)	前頭1	加州	山中の湯(石川)

温泉の数は関東一!

日本全国の温泉地の数は3,038カ所。そのうち群馬県には103カ所あり、全国8位、関東では1位なのです。温泉施設の中でも、全国20,906カ所のうち群馬県には874施設(宿泊施設598・公衆浴場276)あり全国6位、関東1位です。

群馬には10種類
ある泉質のうち8種
類があります。

※環境省自然環境局調べ
(平成28年度末)



ぐんまがいちばん! クイズ①問題 草津温泉の泉質や環境のすばらしさを世界へ紹介し、国際温泉リゾートとなるきっかけを作った人はだれ?



「温泉マーク」の発祥「磯部温泉」

地図でおなじみの温泉マーク「♨」。このマークは、万治4年(1661)に江戸幕府から出された農民の土地争いに対する評決文中の絵図に、磯部温泉を表す記号として2つ描かれていました。

調査の結果、この記号は温泉を表す記号として日本で使われた最古のものと判明。こうして磯部温泉は温泉マーク発祥の地となりました。



最古の温泉マークが描かれた絵図



温泉まんじゅうの元祖「伊香保温泉」

全国各地の温泉地で販売されている「温泉まんじゅう」。実は伊香保温泉が元祖といわれています。

明治43年(1910)に伊香保の菓子舗で試行錯誤して完成させたのが、源泉「黄金の湯」の色をイメージした「湯の花まんじゅう」でした。その後、昭和9年(1934)に行幸された昭和天皇が、そのまんじゅうを大量に買い求められて評判となり、全国の温泉地に広がりました。



伊香保露天風呂「黄金の湯」と湯の花まんじゅう

温泉の色だから「温泉まんじゅう」なんだね。



国民保養温泉地第一号「四万温泉」



積善館本館(奥の建物)

四万(よんまん)もの病に効くことが名前の由来とされる「四万温泉」は、古くから湯治客に人気があり、昭和29年(1954)に国民保養温泉地の第一号に指定されました。

なお、温泉宿の中でも創業320年以上の歴史を誇る「積善館」の建物のうち、「本館」は、築200年以上であり、日本最古の木造湯宿建築とされ、群馬県の重要文化財にも指定されています。



温泉大国ぐんまの特徴ある温泉

●日本三美人の湯「川中温泉」

「日本三美人の湯」の一つに数えられる温泉。川の底より自然湧出するところから川中温泉と呼ばれます。泉質などから美肌効果があるといわれており、秘湯の雰囲気と合わせて人気のある温泉です。



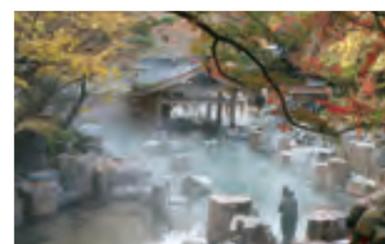
●湯かけ祭りで知られる「川原湯温泉」

毎年1月20日の早朝、ふんどし姿の若者が湯のかけ合いをして湯の神に感謝する「湯かけ祭り」。ハツ場ダムの建設に伴って温泉街は移転しましたが、400年の伝統行事は守られています。



●日本最大級の露天風呂「宝川温泉」

宝川の渓流沿いに述べ面積約470畳に及ぶ4つの大露天風呂が並ぶ温泉。海外の大手通信社が選定する「世界10大温泉」に日本で唯一選ばれ、外国人観光客にも人気です。



●標高約1,800m、雲の上の温泉地「万座温泉」

標高約1,800mに位置し、温泉地として日本屈指の高さを誇ります。源泉数は約20あり、硫黄の含有量は日本有数といわれています。古くからさまざまな効用が伝えられる名湯です。



武将伝説と四大温泉

●草津温泉と源頼朝

浅間山での巻狩りの際に発見したといい、頼朝が腰掛けた石に由来する「御座の湯」や頼朝をまつた「頼朝宮」に名残をとどめます。他に、日本武尊、行基の開湯伝説もあります。

●伊香保温泉と武田勝頼

伊香保名物の石段街は、長篠の戦で敗れた勝頼が、負傷兵の療養のために真田昌幸に命じ、源泉を効率よく配給できるように作らせたといわれています。

●四万温泉と真田昌幸

戦国武将の真田昌幸が、戦乱で荒れた道路や橋を直し、田村彦左衛門を湯守に任命して湯治場として整備したといわれています。

●水上温泉郷と日本武尊

東国征伐の途中、武尊山付近で病に倒れた日本武尊が、白い鷹に導かれて発見したという温泉。その湯につかると病がいたと伝わります。現在の宝川温泉です。

由緒ある温泉地には、武将の伝説も残っているんだね。



ぐんまの

食

群馬県産の小麦で
おかしも作れるよ!

今も昔も“粉食”がぐんまの定番

年間を通して晴れの日が多い気候と、水はけのよい土壌が小麦の栽培に適している群馬県は、古くから小麦栽培が盛んで、全国有数の産地となっています。このため、うどんや焼きまんじゅうなどの昔ながらの料理のほか、パスタや焼きそば、もんじゃなど小麦粉を使った様々なご当地グルメが「粉食文化」として県民の間に広がっています。



群馬を代表する郷土料理「おつきりこみ」

群馬県は、古くから小麦栽培が盛んで、全国有数の産地となっており、小麦からつくられる「粉もの食」が発展してきました。その代表格といえる「おつきりこみ」は、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を支えた養蚕農家を中心に食べられてきました。

幅広の生麺を野菜中心の具とともに煮込んだ料理。うどんとの違いは、麺に塩を加えないこと、生麺のままゆでるため、打ち粉が溶け出してつゆにとろみが出ること。「郷土料理百選」(農水省)で、群馬県の郷土料理に選ばれました。

また、平成26年には「県記録選択無形の民俗文化財」にも選ばれました。



400年の歴史を持つ「水沢うどん」

稲庭うどん(秋田県)、讃岐うどん(香川県)と並んで「日本三大うどん」とされている「水沢うどん」。400年あまり前に、水澤寺(水澤観音)の参詣客向けに手打ちうどんが振る舞われたのが起源で、今でも、小麦粉、塩、水沢の水だけを使って伝統の手法で作られ、強いコシと透明感のある麺が特徴です。



群馬はうどんの名産地

水沢うどん、桐生うどん、館林うどんは群馬の三大うどんとして有名です。



農家では、自家製の小麦米粉でうどんを打って、お客さまをもてなす習慣がありました。

●桐生名物「ひもかわ」

桐生地方に伝わる幅広麺のうどんを「ひもかわ」と呼びます。また、織物のまちにふさわしく「帯うどん」とも呼ばれます。麺の幅は1.5cmから10cm以上と店によってさまざま。幅は広いが厚みは1mm程度と薄く、つるんとしたのと越しも特徴のひとつです。



●将軍家にも献上された「館林うどん」

昔から良質の小麦の産地で、日清製粉グループ本社の前身「館林製粉」発祥の地でもある館林のうどんは、清らかな地下水を使用した、コシの強い風味豊かな味わいが特徴です。江戸時代の中頃より館林藩の名物として将軍家に献上されたとの記録も残っています。



ぐんまがいちばん!
クイズ②問題

小麦粉には強力粉・中力粉・薄力粉があり、含まれているたんぱく質の質と量などによって区別されます。うどんに最適な小麦の種類は何?

概要
特集
自然
温泉
食
農業
産業
歴史
文化
一覧



ご当地グルメの代表格「上州太田焼そば」

横手やきそば(秋田県)、富士宮やきそば(静岡県)とともに「日本三大焼きそば」のひとつ。のびにくく、安くてボリュームがあるので工場働く人々が好んで食べたことから広まりました。

太田市内には数多くのお店があり、地元の人々に親しまれています。



ご当地グルメも粉食がいっぱい

●「パスタの街」として知られる高崎市

人口当たりのパスタ店が全国的にも多いといわれる高崎市。毎年11月頃に、市内のイタリア料理店などがパスタの味と魅力を競い合うイベント「キングオブパスタ」が開催され、出場各店舗が地元産の食材を使った自慢のメニューを提供し、来場者の投票で「キング」を決定しています。



●シロップやカレー粉が隠し味

「伊勢崎もんじゃ」

浅草から東武伊勢崎線を経由して伝わったといわれる「伊勢崎もんじゃ」。昔は、うどんを打つ際に、子どもたちのおやつとして打ち粉を水で溶いてしょうゆをたらして焼いたとか。伊勢崎もんじゃは駄菓子感覚が特徴で、イチゴシロップを加えた「アマ」とカレー粉を加えた「カラ」のほか、両方を加えた「アマカラ」があります。



●これぞ故郷の味！沼田名物「だんご汁」

小麦粉を練って丸めてちぎっただんごを季節の野菜と一緒に煮込んだ鍋料理で、「おつみ」「すいとん」とも呼ばれます。古くからおなじみのこの郷土料理を、名物としてブランド化したのが「沼田だんご汁」。沼田市内のだんご汁推奨店では、しょうゆ味や味噌味、洋風と、お店ごとに違う味を楽しむことができます。



群馬県は「すき焼き応援県」宣言 ～県産食材の消費拡大を目指して～

国内で初めてEU(欧州連合)に輸出が開始された上州和牛や、生産量全国1位のこんにゃく、全国的にも知名度の高い下仁田ネギ、生産量上位の生しいたけ、しゅんぎくなど、群馬県は「すき焼き」に必要なすべての食材が県産で揃います。



これらをはじめとした県産食材の消費拡大を図るため、「すき焼き応援県」を宣言しました。

オール県産食材で食べられる「すき焼き」を、県民のみなさんと、本県のおもてなし料理として確立し、すき焼き大好きの輪を広げるため、「ぐんま・すき焼きアクション」をすすめています。



県民に愛され続ける「焼きまんじゅう」

群馬県民ならだれでも知っているけれど、県外の人にはほとんど知られていないのが「焼きまんじゅう」。まんじゅうを竹串に刺し、濃厚な甘味噌ダレを裏表に塗って焼き、焦げ目を付けたもので、起源は江戸時代の末ごろといわれています。古くは「味噌付けまんじゅう」と呼ばれていましたが、「味噌を付ける」というのはあまり良い意味でないということで、昭和初期には今の「焼きまんじゅう」という呼び名が定着しました。

県内全域に数多くの店舗があり、タレの味や焼き方は各店独特の秘伝があります。専門店だけでなく、群馬のお祭りの屋台には欠かせない、群馬名物の代表格です。



海なし県・群馬ならではの「川魚文化」

海なし県の群馬では、川魚は昔から貴重なタンパク源でした。上流ではイワナやヤマメ、中流ではアユやウグイ、下流ではコイやウナギなどが捕れ、漁法や料理法も工夫され、ごちそうとして食卓に上りました。

県東部の水郷地域では、ナマズやフナなどさまざまな川魚料理が水郷の伝統的な食文化として根付いています。



ナマズの天ぷら

ぐんまの 農業

群馬県産の
食材だけで、
「すき焼き」が
できるよ!



ぐんまは首都圏の台所

豊富な水と長い日照時間、標高差のある耕地を生かし、1年を通じて多彩で多様な農畜産物が生産される群馬県。

野菜や果物、肉類や乳製品、米穀類、きのこ類…、群馬の大地が育む農畜産物はどれも一級品ぞろいです。

こうした豊富で多彩な農畜産物は、首都圏をはじめ全国の皆様に届けられています。



「全国に届く、群馬の食材」

農畜産物の生産に適した環境をもつ群馬県。年間を通して新鮮で、美味しく、多様な野菜や果物が生産されています。そして、牛肉は海外でも評価が高く、豚肉の生産量は全国でも上位です。また酪農も盛んです。

群馬県は、東京から100km圏内にある立地条件と県内を縦横に走る高速道路網を活用して、豊富で多彩な農畜産物を、全国にお届けしています。



全国でも高い評価を得る
群馬の豚肉

群馬が誇る逸品
下仁田ネギ

県民がオススメする群馬の食材「ぐんま食材セレクション100」

県民の推薦のもとに選ばれた、群馬県を代表する食材を集めたものです。全国でも高いシェアを誇るものから、群馬県ならではの個性的なものまで、そのラインナップを見れば、群馬県産食材の多彩さを実感できます。

詳しくは、「ぐんまアグリネット」ホームページを見てね。

<http://aic.pref.gunma.jp/farmproducts/selection/#section03>

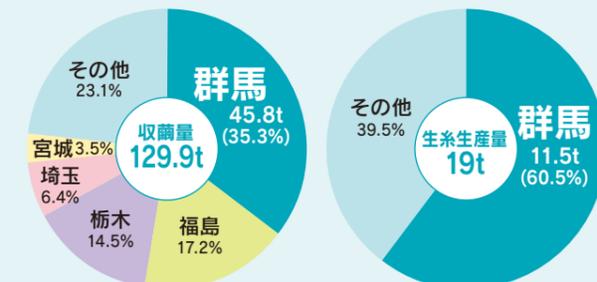


繭と生糸は群馬がいちばん

群馬県は繭の生産量、生糸の生産量、養蚕農家戸数が日本一です。江戸末期から明治にかけて、生糸は日本が外資を稼ぐ主要な輸出品となり、養蚕地帯の群馬県は、輸出品の供給地となりました。群馬から輸出された生糸は品質が高かったため、ヨーロッパでは良質な生糸のことを「マイバシ」と呼んだといわれています。



上毛かるたにも
「繭と生糸は日本一」と
よまれています。



【収繭量と生糸生産量】(一財)大日本蚕糸会調べ(平成28年度)

ぐんまがいちばん! クイズ③問題

浅間山麓に広がる見渡す限りの畑が、映画やドラマ、CMなどのロケ地にもなるほど圧巻の、群馬県を代表する野菜は何?

県 高原キャベツは夏の群馬の贈り物

嬭恋村を中心とした吾妻地域などでは、夏季の冷涼な気候を生かした夏秋キャベツ(7~10月)の栽培が盛んで、日本一の収穫量を誇ります。一面のキャベツ畑は圧巻で、映画やドラマ、CMなどのロケ地にもなっています。

また、嬭恋村は日本武尊が愛妻をしのんだ地という村名の由来から、キャベツ畑の中にある新名所「愛妻の丘」で、毎年9月に「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ(キャベチュー)」というイベントが開催され、話題を呼んでいます。



愛妻の丘



県 こんにやく畑は群馬ならではの景観

こんにやくいもの収穫量は、群馬県が全国の90%以上を占めています。特に栽培が盛んなのは、昭和村、渋川市、沼田市、富岡市など。カロリーが少なく食物繊維が豊富なこんにやくは、ダイエット食品として世界中で注目されています。



世界初 ドクターモリと原木しいたけ生産

群馬県は平成28年の原木しいたけの生産量が全国3位、生しいたけの生産量が5位のきのこ生産県です。今でこそ手軽に手に入るしいたけですが、大量に確実に生産できるようになったのは、桐生市出身の農学博士「森喜作」が、昭和17年に純粋培養菌種駒法(種駒栽培)を開発し、世界で初めてしいたけの人工栽培に成功したおかげ。森は生涯をきのこの研究に捧げ、この功績から、「ドクターモリ」と呼ばれています。



森喜作博士

Topics 群馬ブランド農産物

●群馬生まれのいちご「やよいひめ」

群馬県育成品種として平成17年に登録されたいちご。大きい粒と上品な鮮紅色、甘みと酸味のバランスが良いのが特長で、県内の約80%の作付けを占める県の主力品種となりました。平成20年からは、県外への利用許諾を開始し、全国での普及を目指しています。



ほかにも、群馬県では、ぶどう、ブルーベリー、ももなど、たくさんのフルーツを楽しめるよ。

●最高級ニジマス「ギンヒカリ」

選抜育種により10年以上かけて開発された群馬県特産の大型ニジマス。きめが細かく滑らかな舌触りと、あっさりとした上品な味が特長で、料理のプロの方々から高く評価されています。



●一度食べたら忘れられない味「ぐんま名月」

群馬県北部で主に栽培されているりんご。県オリジナル品種は「あかぎ」「陽光」「スリムレッド」「おぜの紅」など数々ありますが、中でも人気ナンバー1なのが「ぐんま名月」。蜜がたっぷり入り、甘みが強く、酸味が少なく、さわやかな香りが特長です。



●世界的に評価されたお米「雪ほたか」

川場村のブランド米「雪ほたか」は、米・食味分析鑑定コンクール国際大会の総合部門で最高賞の金賞を10回受賞するなど、日本はもとより世界でも「おいしいお米」として評価され、皇室への献上米としても知られています。

群馬県ではこのほかにも、「月あかね」(高山村)、「水月夜」(みなかみ町)など、各地で様々なブランド米が生産されています。



■群馬県での収穫量が全国上位の農産物

農林水産省調べ(平成28年)

2位	きゅうり	51,900 t	3位	レタス	50,400 t
1位	こんにやくいも	69,500 t	2位	えだまめ	6,330 t
1位	キャベツ	260,400 t	2位	うめ	4,730 t
			3位	ほうれんそう	20,800 t

ぐんまの産業

今も昔も変わらない、
群馬のものづくりに対する
熱意と底力を感じるよ！



ぐんまのものづくりと世界に誇る技術力

群馬県は、本州のほぼ中央、東京から約100kmに位置し、
高速交通網が整備されているなど、
産業施設の立地に有利な条件がそろっています。
日本の近代化を支えた富岡製糸場や中島飛行機の航空機製造技術など、
高度な技術力と優れた技能の蓄積が、
現在の群馬のものづくり産業を支えています。

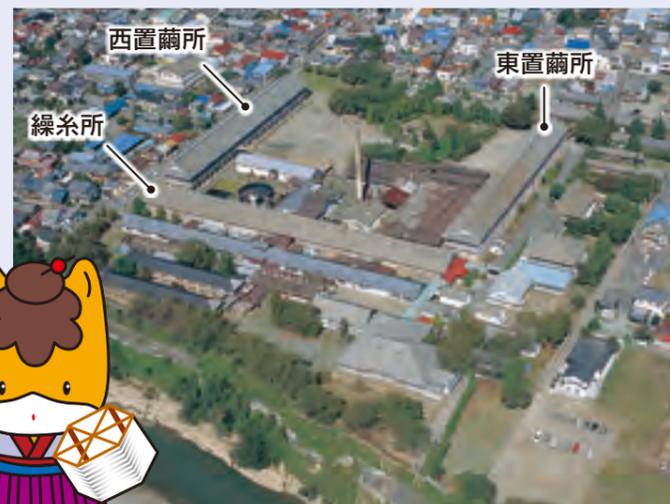


官営模範製糸工場「富岡製糸場」

明治3年、明治政府は、フランス人の生糸検査技師ポール・ブリユナに製糸場の計画書の作成や建設場所の選定と建設、製糸指導を任せました。ブリユナは、良質な繭が確保でき、土地や水、燃料となる石炭等が確保できる富岡を工場建設地に選びました。建設に必要な木材や石材は県内で調達し、瓦やレンガは職人が県内で製造して和洋折衷の建物が完成し、明治5年に日本で初の本格的な模範製糸工場として操業を開始。以来、昭和62年まで115年にわたって操業を続けました。

富岡製糸場は、高品質な生糸の大量生産を実現した技術革新、日本と世界の技術交流の歴史的な価値が評価され、「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴とともに、平成26年6月に世界遺産に登録されました(2ページも見てね)。

さらに、富岡製糸場の繰糸所、東置繭所、西置繭所の3棟の建物は、日本と西洋の建築技術が融合した代表的な工場建築として、平成26年12月に国宝に指定されました。



当時の建物が
ほぼそのままの形で
残されているよ。

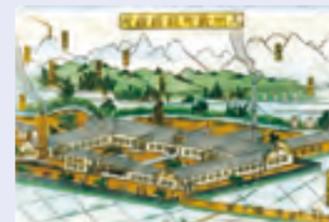


官営絹糸紡績工場 「旧新町紡績所」

高崎市新町にある「旧新町紡績所」は、明治10年に、日本で最初に官営で操業した、屑糸や屑繭を使った絹糸紡績工場です。

現在も、明治時代の建物がほぼ当時のまま残されています。

建物は平成27年7月に国重要文化財に、敷地は平成27年10月に国史跡に指定されました。



錦絵に描かれた新町紡績所

群馬のたからもの「ぐんま絹遺産」

「ぐんま絹遺産」は、群馬県内に残る養蚕、製糸、織物、流通に関わる建造物や施設、民俗芸能等を対象に、県が登録した絹の遺産です。

詳しくは、「ぐんま絹遺産」公式ホームページを見てね。

<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan/>

なるほど!群馬

富岡製糸場は、明治初期に国の財政難により廃止の危機に直面しました。当時の群馬県令であった楢取素彦は、富岡製糸場の存続に努力し、その結果、富岡製糸場は廃止の危機を免れました。

世界に誇る群馬の技術力

文明開化以来、ものづくりが盛んな群馬県。家電、食品、自動車関連などさまざまな分野で業界を牽引するトップ企業があります。全国的に有名な企業やまだあまり知られていない企業の底力を知れば、群馬の産業の今と明日が見えてきます。

群馬県には、
オンリーワンや
ナンバーワンが
たくさんあるね！



国内唯一 世界的企業の生産拠点

食品産業が盛んな群馬県には、日本で“群馬だけ”という世界的な企業の工場があります。館林市にはヨーグルトでお馴染みの「ダノンジャパン(株)館林工場」があり、シリアルでお馴染みの「日本ケロッグ(合同)高崎工場」やハーゲンダッツのアイスクリームを製造する「高梨乳業(株)群馬工場」が高崎市にあります。



ダノンジャパン(株)館林工場

県 どの渴きは群馬が潤す

良質な水が豊富にある群馬県では食品産業が盛んで、清涼飲料水の出荷額は日本一です(平成28年経済センサス活動調査(平成27年実績))。

県内には、渋川市に清涼飲料の「サントリープロダクツ(株)榛名工場」、高崎市に「大塚製薬(株)高崎工場」、館林市に「アサヒ飲料(株)群馬工場」といった工場があります。



国内唯一 AEDを製造

駅や学校、公共施設など人が多く集まるところに見かけるようになったAED(自動体外式除細動器)ですが、国内でAEDを製造しているのは、医療機器メーカー「日本光電富岡(株)」(富岡市)だけです。富岡で製造されたAEDが、日本はもちろん世界各国で救命に活躍しています。



国内唯一 先進的ながん治療「群馬がん特区」

外科手術を行わずにピンポイントでがんを治療する先進的な医療の重粒子線治療施設は、全国に6カ所ありますが、総合病院にこの施設があるのは、群馬大学医学部附属病院だけです。

群馬県は平成25年に「群馬がん治療技術地域活性化総合特区」の指定を受けました。重粒子線治療を核として、がん医療の研究開発、医療人材の育成、医療・ヘルスケア分野へのものづくり企業の参入促進、外国人医療観光の推進などに取り組んでいます。



群馬大学医学部附属病院 重粒子線治療施設

Topics 優れた技術を有する群馬のものづくり産業

大正6年(1917)に中島知久平が設立した中島飛行機は、昭和20年(1945)まで東洋最大、世界有数の航空機メーカーでした。その世界に誇るべき開発力・技術力は、今も群馬のものづくり産業に受け継がれています。

太田市に生産拠点がある(株)SUBARUは日本を代表する自動車メーカーの一つで、人の目と同じように左右2つのカメラで優れた認識性能を持つ自動ブレーキの「アイサイト」や、振動の少ない「水平対向エンジン」などの技術で知られます。

一方、富岡市に事業所のある(株)IHIエアロスペースは、宇宙関連機器の総合メーカーで、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が進める小型人工衛星打ち上げ用の「イプシロンロケット」の機体システムの開発や、小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」の回収カプセルの開発等に携わることで、日本の宇宙開発に貢献しています。



見学できる「SUBARUビジターセンター」



打ち上げに成功した「イプシロンロケット」



福を呼ぶ「高崎だるま」

高崎だるまは江戸時代から作られており、古い歴史があります。現在では年間約90万個出荷されており、全国シェアの大半を占めています。福にこだわり眉は鶴、髭は亀を表しています。

創作こけしは群馬から



伝統工芸の技術を生かしつつ、作家の感性が光る創作こけし。群馬県は林業県で木材が豊富なことから、多くの作家が工房を構えています。榛東村、渋川市、前橋市、吉岡町などで数多く生産されており、創作こけしでは日本一の生産量を誇っています。

群馬が生んだ家電量販店の王者



前橋市で創業し高崎市に本社がある「(株)ヤマダ電機」。平成14年に家電量販店として年間売上高が1位となり、平成22年には年間売上高2兆円を達成。現在も家電量販店日本一の座を守り続けています。

歴史ある絹産業の地・ぐんま

昔から養蚕が盛んだった群馬県では、明治時代以降、富岡製糸場など器械製糸工場で作られた生糸が日本の主要品目としてヨーロッパを中心に輸出され、日本の産業の近代化に大きく貢献しました。

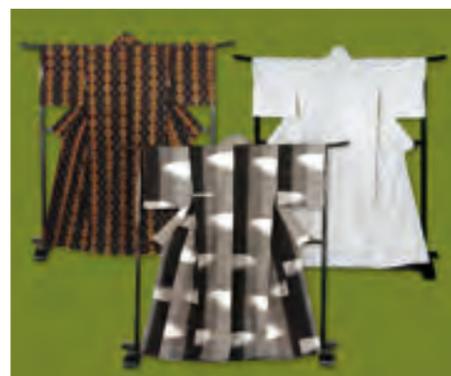


養蚕農家が蚕を飼育して繭を作らせる養蚕業、繭から生糸を作る製糸業、糸を染め織り上げる織物業、そして良質な絹織物を取り引きする商業が栄え、群馬は日本の絹産業をリードする地域となりました。

●国指定伝統的工芸品の「伊勢崎^{かすり}紺」と「桐生織」

「伊勢崎紺」の歴史は古代までさかのぼります。東京の女学生の制服に使用されるなど、明治、大正、昭和にかけて「伊勢崎銘仙^{めいせん}」とよばれ全国的に知られていました。「伊勢崎紺」として国の伝統的工芸品に指定され、守り伝えるべき文化として継承されているほか、近年では、その製造技術を応用し、反物以外にインテリアや産業資材向けの製品が生産されるなど多様化が図られています。

一方桐生織は、鎌倉時代末の新田義貞の旗揚げや、1600年の関ヶ原の合戦で徳川家康が桐生の白絹の旗を用いたことなどから、その名を全国に広め、産地である桐生は江戸時代に「西の西陣、東の桐生」と呼ばれるほど、日本を代表する織物産地となりました。さらに19世紀前半には、金襴^{きんらん}緞子^{どんす}や糸錦^{いとにしき}のような高級織物を生産するようになり、この技術・技法は現在の桐生織に引き継がれています。桐生織は和装に限らず洋服の生地(テキスタイル)にも応用され、現在も桐生産地を支えています。



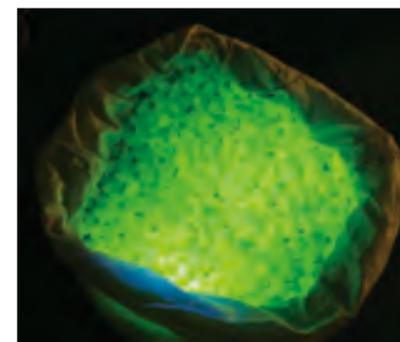
伊勢崎紺



桐生織

●ぐんまの繭を未来へつなぐ

群馬県は、繭の生産量が全国の約4割、生糸の生産量が約6割を占める全国一の養蚕県です(23ページも見てね)。県では、繭糸の太さや色のほか、糸のほぐれ易さ、染色性の良さなどにおいて特長のある、独自に開発したオリジナル蚕品種を活用した「ぐんまシルク」のブランド化や、世界初となる養蚕農家での「緑色蛍光シルク繭」の生産など、養蚕業の未来のための取り組みを進めています。



緑色に光る蛍光シルク繭

ぐんまの歴史

国宝・重要文化財に指定されている土直輪58件のうち、群馬県出土のものは221件もあるんだよ!



古代ぐんまは東国の中心地

古代のぐんまは、最新の文化や技術を積極的に取り入れ、豊かな経済力と最先端の文化を誇り、東国の中心地として大きく発展した国でした。今の群馬を支える群馬のものづくり技術は、古代人から受け継がれてきた東国文化の魅力そのものかもしれません。

東国文化の序章だよ。～旧石器時代—縄文時代～



日本史を塗り替えた岩宿遺跡と相澤忠洋

岩宿遺跡は、旧石器時代の日本列島で人々が生活していたことが初めて明らかになった遺跡です。遺跡からは約3万年前の、石を打ち欠いて作った斧や、鋭い刃を持つ石器が見つかりました。

発見したのは、行商をしながら独学で考古学を研究していた相澤忠洋さん。笠懸村(現みどり市)稲荷山の切り通しの崖で見つけました。その後「東毛考古学研究所」を設立し、在野の研究者としてさまざまな苦労を重ねながら、日本考古学史上に大きな足跡を残しました。



とてもおしゃれだった? 「縄文人の耳飾り」

縄文人のイメージというと、土器の色から地味に思われがちですが、約3,000年前の縄文時代の集落である茅野遺跡からは多くの耳飾りなどの装飾品が出土しています。縄文人は現代人と変わらずファッションを楽しんでいて、とてもおしゃれだったようです。



約3,000年前の縄文人の耳飾り



ハート形土偶



独創性あふれるセンスが光る「ハート形土偶」

東吾妻町の郷原遺跡から出土したハート形土偶。昭和29年に公表されると、日本を代表する原始造形として美術界で注目されました。健康な生命の誕生を祈る信仰遺物とされ、特異なハート形の顔が、縄文人の抽象芸術のセンスのすばらしさを証明しています。

群馬は東国文化の中心地だったよ。



群馬は、東国文化のふるさとといわれています。古墳時代を中心に、現在の関東地方で栄えた文化を「東国文化」といいます。当時の日本は近畿地方が政治・経済・文化の中心地でしたが、群馬の地域は、ヤマト王権と連携した大きな勢力が形づくられ、仏教や文字文化が早くから発達し、経済的にも文化的にも当時の東日本をリードする先進的な地域でした。

その背景には、交通の要である群馬の地域の重要性と中国大陸や朝鮮半島の文化や技術の伝来が、大きな役割を果たしています。

堂々とした姿を誇る巨大古墳、甲を着けた武人や祭祀を行う巫女の埴輪、鏡や冠などの豪華な出土品、住居跡や水田跡など、多くの歴史文化遺産が残されています。

【県内主要古墳分布図】



東国文化を詳しく紹介、「東国文化副読本」!

群馬県が古代東国文化の中心地であり、東日本最大の古墳大国であったことを、写真やイラストを使用してわかりやすく解説しています。



数も大きさも全国有数の「古墳」

古墳とは、3世紀から7世紀にかけて多く造られた、地域を治めた有力者などの墓のことです。

古墳時代、上毛野国(群馬県)は東国の拠点として繁栄していました。県内には13,000基を超える古墳があり、その数は全国で有数なものです。100mを超える巨大古墳が多いのも特徴です。

●東日本最大の前方後円墳 「天神山古墳」

太田市にある天神山古墳は、墳丘の全長が210mもあり、東日本最大の前方後円墳です。5世紀前半に造られました。平らな土地に土を積み上げてこの巨大な古墳を造っており、大がかりな土木工事を行った当時の支配者の権力の大きさがうかがえます。



●東日本唯一! 巨大古墳が3基並ぶ 「保渡田古墳群」

高崎市にある井出二子山古墳・保渡田八幡塚古墳・保渡田薬師塚古墳の3基の大型前方後円墳からなる古墳群は、5世紀後半～6世紀初めに造られました。3基とも広大な二重の堀をめぐらし、多くの埴輪を立て並べた竪穴式の埋葬施設です。古墳時代中期に墳丘100m前後の巨大古墳が近くに3基も造られたのは、東日本ではここだけです。



●石室の美しさが圧巻の「伊勢塚古墳」

藤岡市にある伊勢塚古墳は、6世紀後半に造られた円墳(もしくは不正八角形墳)です。最大の特徴は、非常に美しい横穴式石室です。緩やかな曲線を描く壁面は、大きめの丸石(珪岩)と棒状の石(結晶片岩)を組み合わせた独特の構造で、「模様積み」と呼ばれています。当時の人々の美意識と高い技術力が感じられます。



日本 国宝・国重要文化財の指定数日本一!「埴輪」

埴輪とは、古墳の上や周囲に立て並べられた土でできた焼き物のことです。死者の魂たましいを守ったりしずめたりするものと考えられています。

埴輪からは、古墳時代当時の衣服や髪型、武具、農具、建築様式などのようすを知ることができます。

国宝・国重要文化財に指定されている埴輪は58件ありますが、うち22件は群馬県から出土したものでその数は日本一です。

●唯一の国宝埴輪「埴輪武装男子立像(挂甲の武人)」

太田市で出土し、東京国立博物館が所蔵している「埴輪武装男子立像(挂甲の武人)」は、埴輪としてただ一つ国宝に指定されています。完全武装した武人を細部まで美しく、正確に表現しており、当時の工人の熟練の技が感じられます。



三人童女

国宝「埴輪武装男子立像」
(挂甲の武人)

●国内唯一!「三人童女」

高崎市の綿貫観音山古墳から出土した埴輪。ひとつの台座に正座した3人の巫女が造形され、儀式の中で弦をはじいて音を奏でている姿を表現しています。ひとつの台に3人がのっている埴輪は日本で唯一です。

●群馬だけに? 多数出土「馬形埴輪」

群馬県では、全国的に見ても非常に多くの馬形埴輪が出土しており、県内で出土している動物埴輪のうち、90%以上を占めています。

当時、馬は財力や軍事力、権威の象徴で、たくさん飼育されていました。

この埴輪のような飾り馬以外にも、騎乗用の馬や、引き縄だけが表現された裸馬もあります。



馬形埴輪
(太田市、塚廻り古墳群第4号古墳)

日本最古 日本最大 古代群馬の先進性を伝える「上野三碑」

高崎市にある「山上碑」、「多胡碑」、「金井沢碑」は「上野三碑」といわれ、すべて国の特別史跡に指定されています。平成29年10月には、世界的な価値が評価され、ユネスコ「世界の記憶」に登録されました。

681年に建立された山上碑は、放光寺の僧、長利の亡き母、黒壳刀自を供養した碑です。完全な形で現存する石碑としては日本最古です。

多胡碑は、711年に既存の3つの郡から6つの郷を割いて、新たに多胡郡を設置したことを記念する碑です。那須国造碑(栃木県)、多賀城碑(宮城県)とともに「日本三古碑」といわれています。

726年に建立された金井沢碑は、豪族が先祖の供養と子孫繁栄を祈念した碑です。碑文にある「上野国群馬郡下賛郷高田里」とおり、「群馬」という文字が使われた県内最古の例です。



多胡碑に刻まれた「多胡郡」の文字

多胡碑



金井沢碑



山上碑

多胡石は、
建築用石材としても
広く使われていたよ



なるほど!群馬

多胡碑の碑文の最後の行に名前が記されている石上尊(石上麻呂)と藤原尊(藤原不比等、母は群馬県にもゆかりのある車持氏)は、昔話「かぐや姫」で姫に求婚した5人の中の「中納言石上麻呂」と「車持の皇子」のモデルといわれています。



火山災害にあった古墳人発見

平成24年、渋川市の金井東裏遺跡から甲を着た状態の成人男性の人骨が、日本で初めて発見されました。また、隣接する金井下新田遺跡からも人骨と馬骨が発見されています。馬の体の様子まではっきり分かる状態で出土したのは日本で初めてです。いずれも、古墳時代後期の6世紀初めに榛名山が噴火し、その火砕流に巻き込まれて死亡したと考えられています。



甲を着た古墳人



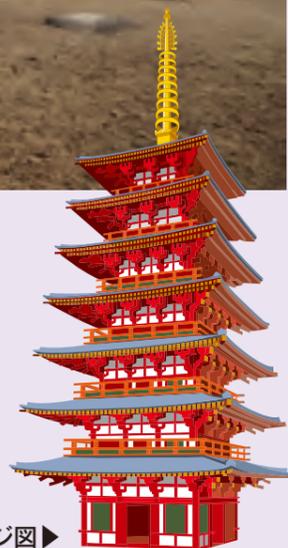
3頭出土したうちの1頭の馬骨



国分寺の塔として最大級の上野国分寺七重塔



▲国分寺ガイダンス館 七重塔のイメージ図▶



741年、聖武天皇により国分寺建立の詔が出され、各国に国分寺と国分尼寺が一つずつ置かれましたが、上野国分寺は、現在の前橋市と高崎市の境付近に建てられました。

上野国分寺は東西219m、南北231mの広さで、周囲を築垣(土堀)で囲まれ、中央には本尊の釈迦如来像を祭る金堂と、国分寺の塔としては日本最大級の高さ60.5mの七重塔が建てられていました。現在、敷地は史跡に指定され、復元された築垣や塔の基壇などを見ることができます。



上野国新田郡家跡の郡庁跡は日本最大規模

太田市にある国史跡「上野国新田郡家跡」は、7世紀後半から9世紀にかけての郡の役所で、その中心部である郡庁(役人が仕事をする場)の規模は一辺が90mあり、日本最大級です。

郡家跡は、南側には古代の東山道駅路が通過するとともに、武蔵国府への道が分岐する要衝に位置し、付近には群馬県最古の寺院の一つである寺井廃寺や、瓦葺の礎石建物跡が見つかった入谷遺跡があり、上野国でも重要な場所だったことがわかります。



新田郡庁跡



昔も今も交通の要衝、碓氷峠

旧中山道の碓氷関所跡は、箱根関所(神奈川県)、新居関所(静岡県)とともに「日本三大関所」といわれています。

交通の要衝である碓氷峠に鉄道が開通したのは明治26年のこと。横川～軽井沢間は最大で66.7パーミル、標高差553mの急勾配のため、レールの上にラックレールと呼ばれる歯車のレールを敷設し、この歯車を機関車の歯車と噛みあわせて運行する「アプト式」を採用しました。

その後、運行時間の短縮や蒸気機関車の排煙問題などを解決するため、明治45年に国有鉄道幹線では最初に電化が行われました。その後も強力な電気機関車の導入や複線化など輸送力の強化を行いました。平成9年の長野新幹線開通を機に104年の歴史に幕を下ろしました。

なお、「めがね橋」で知られるレンガ造りの碓氷第三橋梁をはじめ橋梁やトンネル群、変電所跡など、当時の施設が「旧碓氷峠鉄道施設」として国の重要文化財に指定されています。



碓氷関所跡



めがね橋

概要

特集

自然

温泉

食

農業

産業

歴史

文化

一覧

ぐんまの文化

昭和30年、高山崎で撮影された『ここに泉あり』は、群響がモデルの映画です。地方都市の音楽活動が、全国に注目されるきっかけになりました。



ぐんまっ子を育む上州文化

地方オーケストラのパイオニア「群馬交響楽団」や群馬県民なら誰でも知っている「上毛かるた」、なにげなく使っている方言など、県民のくらしと心に深く根づいた多彩な上州文化。特有の文化の中で育ったぐんまっ子のセンスは文学や芸術、スポーツなど、さまざまな分野で花開いています。

県民なら誰もが知っている「上毛かるた」

「上毛かるた」は、群馬の風土や歴史、産業、人物などを知り、郷土への愛情と誇りを持ってもらうため昭和22年に生まれました。

毎年2月に競技県大会が開催され、小さい頃から練習するため、県民の多くは上の句を言えば下の句がすぐ出るほど暗記しています。なお、読み札の「力あわせる〇〇〇万」の人口は、当初は160万でしたが、昭和48年に170万、昭和52年に180万、昭和60年に190万、平成5年からは200万になっています。

県民から愛され、誇りとなっている上毛かるたは、累計で148万部発行し、郷土かるたの中で日本一です。



県初 音楽センスを育てる「群馬交響楽団」

群馬交響楽団は、昭和20年に創設された「高崎市民オーケストラ」を前身とし、「群馬フィルハーモニーオーケストラ」と改称後、昭和22年に地方楽団で初のプロとなり、昭和38年に群馬交響楽団と改称されました。

昭和30年に群響がモデルの映画「ここに泉あり」が公開されて注目を集め、翌年には文部省から全国で初めて群馬県が「音楽モデル県」に指定されました。

また、県内の小中学生にオーケストラの生演奏を聴く機会として開催されている移動音楽教室は、昭和22年から延べ630万人以上の児童・生徒が鑑賞しています。



移動音楽教室

国内唯一 国内に例のない機構をもつ歌舞伎舞台

渋川市にある国重要有形民俗文化財「上三原田の歌舞伎舞台」は、ガンドウ機構(三方の板壁を外側に倒して舞台面を2倍以上の広さにする)、遠見機構(舞台の奥に遠見と呼ぶ背景をつけ、奥行きを深く見せる)、柱立式廻転機構(平舞台いっぱいの回転部を回転させる)、二重セリ機構(二重と呼ぶ小舞台を天井・奈落の双方からせり上げ、せり下ろす)という全国に例のない4つの機構があり、その操作技術とともに伝承されています。



なるほど!群馬

童謡「海」の作詞者の林柳波(沼田市)と作曲者の井上武士(前橋市)はともに群馬県出身です。そのほかにも、林は「おうま」、井上は「チューリップ」など多くの童謡を世に送り出しました。

- 概要
- 特集
- 自然
- 温泉
- 食
- 農業
- 産業
- 歴史
- 文化
- 一覧



世界三大数学者 関孝和

せきたかかず

[?~1708年] 和算家(数学者)

藤岡生まれ(江戸出生説もあり)。円周率や球の体積の計算方法を考え出し、ニュートン、ライプニッツと並んで世界三大数学者の一人といわれ、関流和算の開祖として「算聖」とあがめられています。



関流和算の奉納算額



新陰流の祖 上泉伊勢守信綱

かみいづみ いせのかみのぶつな

[1508?~1578?年] 上泉城主・兵法家

前橋市生まれ。剣術の新陰流を創始し、徳川將軍家の指南役となる柳生氏に授けました。力と速さで相手を倒す「殺人刀」に対し、信綱の唱えた「活人剣」は、敵を誘い動かして勝ちを取るもので、その精神は、徳川300年の礎を築きました。



流祖と縁のある一宮市(愛知県)妙興寺境内での演武

また、袋竹刀ふくろしなを発明し、それまでは木刀を使用していたため死傷することもあった稽古や試合が、危険なく行えるようになったのも信綱の功績です。

群馬県ゆかりの金メダリスト

オリンピック夏季大会

開催年	開催地	選手名	競技名
昭和35年(1960)	ローマ	相原信行	体操団体・体操種目別/床
昭和39年(1964)	東京	上武洋次郎	レスリング・フリースタイルバンタム級
昭和43年(1968)	メキシコ	上武洋次郎	レスリング・フリースタイルバンタム級
昭和51年(1976)	モントリオール	高田裕司	レスリング・フリースタイル52kg級
		前田悦智子	バレーボール
平成20年(2008)	北京	乾絵美・上野由岐子・坂井寛子・廣瀬芽・三科真澄・峰幸代	ソフトボール

オリンピック冬季大会

平成4年(1992)	アルペールビル	荻原健司	スキー 複合団体
平成6年(1994)	リレハンメル	荻原健司	スキー 複合団体
平成30年(2018)	平昌	佐藤綾乃	スケート 団体追い抜き

パラリンピック夏季大会

平成12年(2000)	シドニー	奈良恵里加	水泳 4×50mリレー
平成16年(2004)	アテネ	奈良恵里加	水泳 4×50mリレー

ぐんまゆかりの金メダリストがこんなに! 2020年のオリンピック・パラリンピックも楽しみだね。



スポーツ王国ぐんま

●日本のトップチームが集結「ニューイヤー駅伝」
駅伝日本一の座を目指して、日本の実業団のトップチームが100kmの上州路を駆け抜ける新春の風物詩。



●パナソニック ワイルドナイツ(ラグビー)
平成27年度にはトップリーグ、日本選手権に優勝し二度目の二冠を達成し、名実ともに日本を代表する強豪チームです。



●ビックカメラ&太陽誘電(ソフトボール)
平成26年に開催された「第14回世界女子ソフトボール選手権大会」、「第17回アジア競技大会」、「第18回アジア競技大会」で金メダルを獲得した日本チームには、本県から10選手が出場しました。



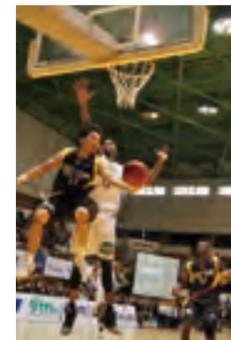
●サッカーJリーグ ザスパクサツ群馬
平成14年、「湯の街からJリーグを」を目標に草津町で誕生したザスパ草津。平成17年のJリーグ加盟時にホームを群馬県全域に改め、平成25年からはチーム名を「ザスパクサツ群馬」と改称しました。



●プロ野球BCリーグ 群馬ダイヤモンドペガサス
平成20年にBC(ベースボール・チャレンジ)リーグに加盟したプロ野球チーム。平成21年、26年、28年、30年にはBCリーグ優勝。平成28年、30年には日本独立リーグ優勝。



●プロバスケットボールBリーグ 群馬クレインサンダーズ
2012~2013シーズンからbjリーグに加入、2016~2017シーズンから新たなBリーグ2部の参加となったプロバスケットボールチーム。



●上武大学 硬式野球部・陸上部
上武大学硬式野球部は、平成25年に開催された「第62回全日本大学野球選手権大会」で優勝しました。また、陸上部も平成21年の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)に出場以降、10年連続で箱根駅伝に出場するなど、群馬県のスポーツレベルの向上に大きく貢献しています。



●活躍する高校生
前橋育英高校は、硬式野球部が平成25年夏の甲子園で初出場・初優勝の快挙を達成、サッカー部は平成30年1月の全国選手権大会で優勝しました。
また、オリンピック金メダリストを輩出したレスリングの館林高校、冬季オリンピックでメダル獲得者を輩出しているスケートの嬬恋高校、水球インターハイ最多10回優勝の前橋商業高校、ソフトボールインターハイ5回優勝の新島学園高校などは本県を代表する全国強豪校です。



そのほかにも、たくさんの本県高校生アスリートが世界や全国の檜舞台で活躍しています。

なぜ「群馬」？ 県名の由来

およそ1,300年前、現在の群馬県にあたる地域は「上毛野国」と呼ばれ、その中に「車くるま評」と呼ばれる評(郡のこと、大宝2年(702)に評は郡に改められる)がありました。

奈良時代の初め、和銅6年(713)に、各地の地名に良い字をあて、二文字で表すようにとの命令が朝廷から出され、「車くるま郡」は「群馬くるまのこおり郡」へと改められます。国名もあわせて二文字に変えられ、「上毛野国」は「上野国」と記されるようになりました。鎌倉時代頃からは、「上野国」を「こうずけのくに」と読むようになりました。

明治期になり、廃藩置県が行われると、新県の名称は「群馬県」と決定されました。前橋・高崎を含み当時県内で最も人口が多く栄えていた「群馬郡」の名前をとったとされています。また、県境も3度変更されましたが、結局、旧上野国の範囲をもって県域に決定しました。



「車」と刻まれた土器

群馬は「日本のへそ」?

日本列島のほぼ中央に位置する群馬県。

なかでも渋川市は「日本のまんなかへそのまち」を宣言し、毎年夏には「へそ祭り」を開催しています。

ほかに、東経135度、北緯35度が交差する兵庫県西脇市、日本列島の中心と呼ばれる栃木県佐野市など、各地に「へそ・中心・重心」をキーワードにしたまちがあり、「全国へそのまち協議会」を組織して、交流を深めています。



日本のまんなか渋川へそ祭り

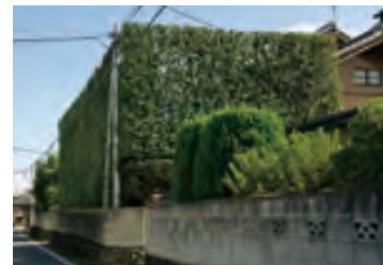
全国へそのまち協議会加盟市町村

群馬の風物、夏の雷と冬の空っ風

群馬県の気象の特徴は、夏の「雷」と冬の「空っ風」です。

「雷」は落雷の被害をもたらす一方、農耕に欠かせない恵みの雨を降らせます。雷に由来する地名や山名も各地にあり、赤城山は古くは黒雲のわきあがる山「くろほ」、榛名山はいかづち(雷)の山「いかづち」とも呼ばれ、伊香保にその名を残しています。また、雷神をまつる雷電神社は明治期には354社記録され、現在も県内各地にあります。

「空っ風」は、冬に北や北西から吹く、冷たく乾燥した強い季節風で、地域によって「赤城おろし」「榛名おろし」「浅間おろし」などと呼ばれます。空っ風から家屋を守るため、家の敷地の北と西側に植えられた防風垣「かしぐね」のある風景は、群馬を代表する景観です。また、乾燥した風である空っ風は、だるまづくりや家具製造、干し芋、大根干しなど、ものを乾かす文化をもたらしました。



かしぐね(防風垣)



大根干し



雷電神社

活躍する女性像の代名詞「かかあ天下」

「かかあ天下」というと、「強い女性」というイメージがありますが、実は「働きものの女性」のこと。絹産業が盛んだった上州(群馬県)の歴史の中で、養蚕・製糸・織物で女性は家計を支え、製糸工女おりてや織手としても活躍しました。夫(男)たちは、「おれのかかあは天下一!」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になり、現代では、内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっています。

こういった群馬の女性の活躍を描いた物語「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」が、地域に根付いた伝統や文化財を通じ、歴史的な魅力や文化を語るストーリーとして平成27年に文化庁から「日本遺産」に認定されました。



養蚕の指導者として活躍した永井いと



こんなにるよ!

ぐんまのトリビア

Gunma Trivia Catalog

●日本一・世界一

つつじが岡公園	推定樹齢800年を超えるヤマツツジをはじめ約1万株のツツジが美しく咲き誇る名勝。アメリカのツツジ・シャクナゲ協会会長デビット・リーチ氏が「世界一」と賞賛。
利根川	みなかみ町の大水上山(おおみなかみやま)を源流とし流域面積約16,840km ² で日本一。
ぐんま昆虫の森	敷地面積が45haで体験型昆虫施設としては日本最大。
緑の少年団の団員数	平成29年度現在、56,526名で日本一の数。また、県内の全小学校に緑の少年団が設置されているのは群馬県だけ。
公営電気事業者の発電所数	群馬県企業局には、発電所が36カ所(水力32、火力1、風力1、太陽光2)あり、公営電気事業者(地方公共団体が経営する電気事業者)として日本一の数で、供給電力量も日本一。
下久保ダム	堤体の長さが605mで、重力式コンクリートダムの中で日本一の長さ。
丸沼ダム	高さが32.1mで、コンクリートバットレスダムの中で日本一の高さ。
ぐんま県境稜線トレイル	群馬と新潟・長野の県境稜線100kmを主要ルートとしたロングトレイル(登山道やハイキング道、林道、古道などをつなぎ合わせた距離の長い自然歩道)。国内のロングトレイルの中でも稜線の長さは最長。
草津温泉	「日本三名泉」「日本三大薬湯」。自噴湧出量が毎分32,300ℓで日本一。
こんにやく	こんにやくいもの収穫量は、群馬県が全国の90%以上で日本一(農林水産統計29年)。
キャベツ	嬭恋村を中心に栽培が盛んで、日本一の収穫量(平成28年産野菜生産出荷統計)。
夏秋ナス	露地なすを中心とした栽培が盛んで、日本一の収穫量(平成28年産野菜生産出荷統計)。
繭と生糸	群馬県は繭の生産量、生糸の生産量、養蚕農家戸数が日本一(大日本蚕糸会調べ28年)。
鮎	1年で世代交代する鮎。県水産試験場で生産している養殖鮎は、平成29年で48回世代交代を行っており、日本一。
荒船風穴	下仁田町にあり、明治38年から大正にかけて建設された天然の冷風を利用した蚕種貯蔵施設で、貯蔵能力は種紙110万枚で日本一。
群馬県食肉卸売市場	群馬県食肉卸売市場は小動物(豚)のと畜許可頭数が1日当たり3,000頭で、日本一。また、EUへの輸出が許可された施設としては日本初。
清涼飲料水出荷額	清涼飲料水の出荷額は日本一(平成28年経済センサス活動調査(平成27年実績))。
空洞コンクリートブロック	空洞コンクリートブロックの出荷額は日本一(平成28年経済センサス活動調査(平成27年実績))。
小型ステープラー	マックス(株)が生産する小型ステープラーは国内でのシェア日本一。
ヤマダ電機	家電量販店として年間売上高日本一。
高崎だるま	高崎だるまは年間約90万個を製造で日本一。
創作こけし	創作こけしの生産量は日本一。
物価水準	日本一物価水準が低いのは群馬県(消費者物価地域差指数 群馬県:95.9)(総務省・小売物価統計調査(構造編)年報・平成28年)。
豆腐・しみ豆腐・油あげ類の出荷額	豆腐・しみ豆腐・油あげ類の出荷額は日本一(平成28年経済センサス活動調査(平成27年実績))。
埴輪	国宝・重要文化財に指定されている埴輪58件のうち、群馬県出土の物は22件あり、日本一の数。
史跡上野国分寺七重塔	国分寺の塔として日本最大級の推定高60.5mの七重塔が建てられていた。
天神山古墳	太田市にある「天神山古墳」は、全長が210mで東日本で最大の前方後円墳。
上毛かるた	累計で約148万組発行、郷土かるたの中で日本一。
フランソワ・ボンボン所蔵数	館林美術館が所蔵する「フランソワ・ボンボン」の作品コレクションの数は全67点で、日本一。
高崎市内の山車数	高崎市内にある江戸型山車数の保存数は38台で、日本一の数。
土合駅	ホームと駅舎の間に日本一の階段数の486段の階段がある「日本一のモグラ駅」。
利根川・江戸川サイクリングロード	全長約170km。川沿いでは日本一長いサイクリングロードで、群馬県はその出発点。
メロディーライン設置数	県内には10カ所設置されており、日本一の数。
自動車保有台数	人口に対する自動車の保有台数は日本一。
免許保有率	人口に対する自動車運転免許を保有している割合が日本一。

●日本初・世界初

尾瀬	「ごみ持ち帰り運動」が尾瀬で初めて行われた。
赤谷プロジェクト	生物多様性の復元と持続的な地域づくりのため、地域住民で組織する赤谷プロジェクト地域協議会、林野庁関東森林管理局、日本自然保護協会の3者が協働して、国有林を管理する日本初の取り組み。
伊香保温泉	温泉まんじゅう発祥の地。また、伊香保温泉の石段(365段)は、金比羅宮(香川県 1,368段)、立石寺(山寺)(山形県 1,015段)と並び「日本三大名段」
四万温泉	国民保養温泉地第一号に指定。「積善館」の建物のうち、「本館」は日本最古の木造湯宿建築。
ヤマメの人口ふ化	昭和32年に、嬭恋村の養魚家が、日本で初めてヤマメの人工授精・ふ化に成功。
森喜作	桐生市出身の農学博士「森喜作」が、昭和17年に純粋培養菌種駒法(種駒栽培)を開発し、世界で初めてしいたけの人工栽培に成功。
ハコスチ	遊魚用ニジマス「ハコスチ」は、美しい姿形の箱島系ニジマスと野性味が強いスチールヘッド系の交配によって生まれた、希少な釣り用系統。平成27年に、日本で初めて釣り用のニジマスとして開発された。
富岡製糸場	日本初の本格的な模範製糸工場として操業開始。また、産業遺産としては、国内初の国宝。
新町紡績所	日本で最初に官営で操業した屑糸や屑繭を使った絹糸紡績工場。
中小坂鉄山	下仁田町にあった鉄山で、江戸時代から製鉄が行われ、明治になって日本初の西洋式・近代的製鉄所として操業を開始した。
わくわく自販機ミュージアム	(一社)日本自動販売システム機械工業会が日本で初めて開設した自動販売機をPRする常設施設。
恐竜の足跡	神流町の連岩(さざなみいわ)の化石にあるくぼみが、研究者によって、日本で初めて恐竜の足跡の化石に認定された。
岩宿遺跡	日本で最初に発見された旧石器時代の遺跡。
碓氷峠	交通の要衝である碓氷峠に鉄道が開通したのは明治26年のこと。信越本線の横川〜軽井沢間は、最大66.7パーミル、標高差553mの急勾配のため、レールの間に歯車のレールを敷設し、歯車を機関車の歯車と噛みあわせて運行する「アプト式」を採用しました。明治45年には国有鉄道幹線では最初に電化された。平成9年の長野新幹線開通を機に廃線。
群馬交響楽団	昭和20年創設の「高崎市民オーケストラ」を前身とし、「群馬フィルハーモニーオーケストラ」と改称後、昭和22年にプロとなり、昭和38年に群馬交響楽団と改称された。昭和30年に群響がモデルの映画「ここに泉あり」が公開されて注目を集める。また、県内の小中学生にオーケストラの演奏を身近に感じる機会として開催されている移動音楽教室は、昭和22年から始まり、延べ630万人以上の児童・生徒が鑑賞している。
上泉伊勢守信綱	剣術の新陰流を創始したほか、袋竹刀を発明。
中学生まで医療費無料	所得制限や受診時の窓口負担なく、中学校卒業まで医療費が無料となる制度を、全国に先がけて平成21年10月から群馬県が実施。

●日本最古

磯部温泉	古地図に日本最古の温泉マークがしるされた「温泉記号発祥の地」。
神津牧場	明治20年(1887)、日本で最初の洋式の牧場として開設。
上野三碑(山上碑、多胡碑、金井沢碑)	山上碑は完全な形で現存する石碑としては日本最古。金井沢碑は「群馬」という文字が使われた県内最古の例。多胡碑は日本三古碑。平成29年10月にはユネスコ「世界の記憶」に登録された。
安政の遠足	江戸時代、安中藩主が藩士の鍛錬のため徒歩競争させた。これが日本のマラソンの発祥とされる。

●日本で唯一

上野村のシオジ林	上野村植原にあるシオジの原生林は、シオジ林としては日本で唯一、天然記念物に指定されている。
アザレアコレクション	ぐんまフラワーパークの「アザレアコレクション」は、世界的にも貴重なコレクションとして評価されている。
ウクレレ	前橋市の三ツ葉楽器(株)は、国内で唯一ウクレレを量産。
ダノンジャパン(株)館林工場	館林市にある「ダノンジャパン(株)館林工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。
日本ケロッグ(合同)高崎工場	高崎市にある「日本ケロッグ(合同)高崎工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。
高梨乳業(株)群馬工場	高崎市にある「高梨乳業(株)群馬工場」は、国内で唯一ハーゲンダッツのアイスクリームを製造する工場。
重粒子線がん治療施設	総合病院に併設された重粒子線治療施設は群馬大学医学部附属病院(前橋市)のみ。
(株)SUBARU	「(株)SUBARU群馬製作所」では「スバル」ブランドで自動車を生産。世界でも数少ない「水平対向エンジン」を搭載し、群馬から日本国内、さらに全世界へ輸出。
ヤマト発動機(株)	太田市の「ヤマト発動機(株)」は、ボートレース用のモーター(エンジン)とボートを国内で唯一生産。

AED	富岡市にある医療機器メーカー「日本光電富岡(株)」は、AED(自動体外式除細動器)を国内で唯一製造。
自然史博物館	日本で唯一カマラサウルスの実物化石を使った全身骨格を展示。ブラキオサウルスの全身骨格復元模型の展示や、トリケラトプスの実物骨格を展示しているボーンベッドも、日本で唯一。また、館内のブナ林のジオラマは高さ日本一のほか、日本に数点しかないダーウィンの手紙を日本で初めて公開。
上三原田の歌舞伎舞台	渋川市にある国重要有形民俗文化財。ガンドウ機構(三方の板壁を外側に倒して舞台面を2倍以上の広さにする)、遠見機構(舞台の奥に遠見と呼ぶ背景をつけ、奥行きを深く見せる)、柱立式廻転機構(平舞台いっぱい廻転部を回転させる)、二重セリ機構(二重と呼ぶ小舞台を天井・奈落の双方からせり上げ、せり下ろす)という全国に例のない4つの機構があり、その操作技術とともに伝承されている。
ゲルニカ(タピスリ)	県立近代美術館が所蔵する「ゲルニカ(タピスリ)」は、ピカソの「ゲルニカ」をもとに本人が監修して作られた織織りで、3点のみ制作された貴重な美術品。日本では同館のみが所蔵。
主要地方道佐野古河線	渡良瀬遊水地の西側を走る主要地方道佐野古河線は、群馬、栃木、埼玉、茨城4つの県をまたぐ日本で唯一の県道。

●日本三大・世界三大

妙義山	耶馬溪(大分県)、寒霞渓(かんかけい)(香川県)と並び、「日本三大奇勝」。「日本近代登山の父」ウォルター・ウェストンが妙義の山岳ガイド根本清蔵に登山技術を教えたことから「近代登山発祥の地」ともいわれる。
谷川岳	日本百名山で、剣岳(富山県)、穂高岳(長野県・岐阜県)と並んで「日本三大岩場」。
川中温泉	美肌効果があると言われ、龍神温泉(和歌山県)、湯の川温泉(島根県)とともに、「日本三美人の湯」。
太田焼そば	横手やきそば(秋田県)、富士宮やきそば(静岡県)とともに「日本三大焼そば」。
水沢うどん	稲庭うどん(秋田県)、讃岐うどん(香川県)と並んで「日本三大うどん」。
伊勢崎市境島村地区	世界遺産「田島弥平旧宅」がある伊勢崎市境島村地区は、かつて福島県伊達地方、長野県上田地方とともに「日本三大蚕種製造地帯」といわれ、三種の生産が盛んだった。
貫前神社	531年創建と伝えられ、927年の『延喜式』の神名帳に掲載されている由緒ある神社。総門よりも社殿が低いところにある「下り宮」で、鶴戸神社(宮崎県)、草部吉見神社(熊本県)と並んで「三下り宮」。
曹源寺のさざえ堂	太田市にあり、会津さざえ堂(福島県会津若松市)、平等山成身院百体観音堂(埼玉県本庄市)とともに、「三大さざえ堂」。(さざえ堂とは、螺旋状の回廊を有する特異な建築物で、江戸時代に各地で建設された)
碓氷関所	安中市にある旧中山道の関所。箱根関所(神奈川県)、新居関所(静岡県)とともに「日本三大関所」。なお「日本四大関所」の場合は、三大関所に福島関所(長野県)が加わる。
関孝和	円周率や球の体積の計算方法を考え出し、ニュートン、ライプニッツと並ぶ世界三大数学者。
土師の辻	藤岡市の土師神社にあり、石川県の羽咋神社、大阪府の住吉神社とともに「日本三辻」。(相撲辻とは屋外で行った相撲の土俵のこと)
船津伝次平	幕末から明治にかけて活躍した農業指導者で、奈良県の中村直三、香川県の奈良専三とともに「日本三老農」。群馬をはじめ我が国の農業技術改良や普及に尽力した。
高山彦九郎	高山彦九郎は、江戸時代後期の尊皇思想家で、林子平・蒲生君平とともに「寛政の三奇人」。幕末の尊皇運動に大きな影響を与えた。

●貴重・希少

沼田の河岸段丘	利根川、薄根川や片品川の両岸で見ることができる。特に片品川に沿って広がる7段の段丘は、規模が大きく形がはっきりしているため、多くの高校の教科書で、その典型的な場所として紹介されている。
チャツボミゴケ	硫黄泉や硫化金属鉱山付近の流水中や湿岩に生育するコケで、北海道から九州にかけて分布。中之条町六合地区の元山にあるチャツボミゴケ公園は、鉄鉱石の露天掘り跡に強酸性の湯が湧出し、チャツボミゴケが群生している。広範囲に生育しているのは珍しく、国の天然記念物に指定されている。
満徳寺	太田市にあり、江戸時代中頃に江戸幕府の公認を受けた、世界に二つしかない縁切寺の一つ。もう一つは鎌倉の東慶寺。「駆け込み寺」とも呼ばれ、江戸時代、離婚を求めて駆け込んだ妻を救済し、夫との離婚を達成させてくれた尼寺。
平坦地にある3県境	東武日光線柳生駅の近くには群馬、栃木、埼玉の3県の県境が平地の水田内にある珍しい地点がある。

取材・写真提供協力者(あいうえお順・敬称略)

株式会社IHIエアロスペース	高崎市
相澤忠洋記念館	ダノンジャパン株式会社
伊勢崎織物協同組合	婦恋村
板倉町	東京国立博物館
宇宙航空研究開発機構(JAXA)	中之条町
太田市	長野原町
公益財団法人尾瀬保護財団	日本光電富岡株式会社
オリックス株式会社	沼田市
川場村	パナソニック株式会社
桐生織物協同組合	東吾妻町
株式会社草津温泉フットボールクラブ	藤岡市
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	プチフルお菓子教室
公益財団法人群馬交響楽団	文化庁
株式会社群馬スポーツマネジメント	前橋育英高等学校
群馬大学	みなかみ町
株式会社群馬プロバスケットボールコミッション	明治大学博物館
一般社団法人四万温泉協会	森産業株式会社
下仁田町	新陰流兵法第二十二世宗家 柳生耕一
上武大学	株式会社ヤマダ電機
株式会社SUBARU	吉田だるま店株式会社

ぐんま総合情報センター 「ぐんまちゃん家」はぐんまの総合情報発信拠点

物産販売や観光案内のほか、レストランを併設しぐんまの魅力をお届けします!



〒104-0061
東京都中央区銀座7-10-5
The ORB Luminous 1・2階

●営業時間

1階 物産販売 11:00~19:00
(ドリンクカウンターのみ20:00まで ※日・祝は19:00まで)

2階 レストラン「銀座つる」 11:30~22:00
(※日・祝はランチ営業のみ 11:30~15:00)

●電話番号

03-3571-3086(代表・観光案内等)
03-3571-7761(物産販売)
03-3571-7763(レストラン)



ぐんまちゃんが案内する群馬の魅力 ぐんまがいちばん!

平成30年(2018)11月発行
(5版第1刷)

発行 群馬県広報課
ぐんまイメージアップ推進室
TEL.027-897-2695

群馬県についてもっと知りたいという方は
こちらも見てください!

<https://www.pref.gunma.jp/>

制作・印刷 | 朝日印刷工業株式会社